

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第18回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第18回〕

2. 開催日時 令和3年10月20日（水） 19時00分から20時00分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

小沼哲夫、宮嶋英雄、西元重人、原田貞男、矢澤登、北林昇、唐澤功、米山俊孝、
川瀬八十治、黒澤哲郎、寺沢秀文、松下敏章、熊岡正志、小澤文人、矢澤良一、
宮下彰、北林誠、小林幸彦、松浦善文、松下正博、田中真喜子

【JR東海】

中央新幹線建設部 古谷担当部長

中央新幹線長野工事事務所 平永所長、太田垣課長、工藤主席

// 大鹿分室長 水上室長

【役場】

宮下町長、岡田副町長、小沢課長、片桐課長補佐、村松主任

米山課長、田中課長、原課長、下井課長

5. 議題

(1) 前回対策委員会からの経過報告について

(2) 中央新幹線工事に関する発生土運搬に係る安全対策工事について

(3) リニア中央新幹線発生土運搬安全対策連絡協議会について

(4) JR東海からの説明

- ・大鹿村内リニア工事進捗状況
- ・発生土運搬計画及び安全対策

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

6人

8. 会議資料の名称

- ・会議次第、資料（町作成）
- ・別冊資料（JR東海作成）

9. 会議の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 会議事項
上記のとおり
- (4) その他
- (5) 閉会

10. 会議録

(宮下町長)

改めまして、皆さんこんばんは。今日は松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会ということで、大変お忙しい中、また冷え込んでまいりましたお寒い中、お集まりをいただきましてありがとうございます。今年4月からいろいろと皆様にもお骨折りをいただいて、前からお伝えさせていただいておりましたが、10月から発生土の運搬がいよいよ始まるということで、先日の新聞にも載ってまいりましたが、25日以降、発生土運搬が始まるという、報道がされているところでございます。その前段での本日の会議とさせていただきます。

この後、会議事項でもお話をさせていただきますが、皆様、道路を通っておりますと見ていただいているかと思いますが、安全対策等なされてきておりますので、現在の状況など、お知らせをさせていただきたいと思っております。

また、折しも昨日より衆議院議員選挙が始まりました。この会場は、期日前投票の会場ともなっておりますので、あまり長くなり過ぎないように気をつけたいと思っております。

また、こういう会議も、今後も発生土運搬が始まりましても、随時こちらから連絡することがございますので、定期的にこれからも行っていきたいと思っております。

どうか本日はよろしく願いいたします。

(JR 東海/古谷部長)

こんばんは。JR東海で長野県の担当部長しております古谷でございます。本日も皆様の貴重なお時間、ご説明の機会をいただきまして誠にありがとうございます。また、委員会の皆様には日頃よりリニア中央新幹線事業に対して、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

さて、長野県内のリニア工事ですが、大鹿村では引き続きトンネル工事を進めており、大鹿村に続き、豊丘村・飯田市においてもトンネル掘削工事を着手しております。また、天竜川橋りょう工事につきましても、本格的に10月から橋りょうの橋脚工事に着手させていただいている状況でございます。

一方、中川村で進めてきておりました県道松川インター大鹿線の道路改良工事が9月に完了となり、いよいよ大鹿村から発生土を大鹿村外に出すという状況になってきております。

松川町内の運搬ルートや運搬台数につきましては、これまで地元の皆様のご意見をお聞きしながら、松川町と調整させていただき、計画を進めてきたところであり、前回7月の委員会で

その計画をご説明した後、関係する地元地区にもご説明させていただいてきたところがございます。そのような中で、道路に係る安全対策工事を順調に進めてきております。本日は、その状況報告と今後の運行計画について、改めてご説明させていただければと考えております。

いずれにいたしましても、委員会の皆様には前広にご説明するとともに、ご意見をお聞きしながら、皆様とコミュニケーションを図り、今後も進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

(黒澤委員長)

皆さんこんばんは。少々遅れまして申し訳ありませんでした。ご迷惑をおかけしました。それでは、進行の方、着座にて進めさせていただきます。次第に沿いまして進めてまいります。それでは(1)、(2)、(3)の3項目について、一括して説明をお願いします。

(2) 会議事項

(1) 前回対策委員会からの経過報告について

〔町/片桐課長補佐より説明〕

(2) 中央新幹線工事に関する発生土運搬に係る安全対策工事について

〔町/小沢課長より説明〕

(3) リニア中央新幹線発生土運搬安全対策連絡協議会について

〔町/小沢課長より説明〕

【質疑応答】

(黒澤委員長)

ただいま経過報告、それから安全対策工事、それから連絡協議会について、ご報告ご説明をいただいたわけでありませうけれども、この件に関しまして、ご質問等ご発言ございましたらお願ひをいたします。はい、小沼委員。

(小沼委員)

町政懇談会の折にも要望させていただいておりますが、的場橋のところへ誘導員をつけてほしいということは何回かお願ひしてるんですが、その件について、どうなっているかお願ひしたいと思ひます。

(黒澤委員長)

はい。的場橋の誘導員設置についての要望に関して、JRさんの方で。

(JR 東海/太田垣課長)

JR 東海の中央新幹線長野工事事務所で担当課長しております太田垣と申します。

的場橋への誘導員立哨につきまして、ご要望いただひていることは承知しております。まずは、ルートを分散化し、最初は少ない台数で通行させていただきますので、その状況も踏まえて、必要により対応させていただきたいと考えております。

(黒澤委員長)

小沼委員、よろしいですか。

(小沼委員)

ぜひともつけていただく方向でお願いしたいと思います。

(黒澤委員長)

ほかにご質問等ご発言ございませんでしょうか。

それでは進めさせていただきたいと思いますが、(4)番、JR東海さんからの説明ということとであります。それではよろしく願いいたします。

(4) JR東海からの説明

- ・大鹿村内リニア工事進捗状況
- ・発生土運搬計画及び安全対策

〔JR東海/太田垣課長より説明〕

【質疑応答】

(黒澤委員長)

それではただいまの説明の中でご質問等ご発言ございましたらお願いいたします。はい、西本委員。

(西元委員)

10月25日から運搬開始するわけですが、試験走行をやったその結果というのは、未までですけど状況によって変わるとかそういうことがあるんですか。その結果の報告はどのような形で報告していただけるんですか。

(JR東海/太田垣課長)

ご質問ありがとうございます。まずは少ない台数で試験走行させていただき、もし運転する側で何か気づいた点があれば改善してきます。また、ご地元の方からもご意見をいただければ、その内容について必要に応じて対応していきたいと思いますが、基本的には運行させていただきながら改善させていただきたいと考えております。改善した点がございましたら、このような場でご報告していくことを考えておりますので、よろしく願いいたします。

(黒澤委員長)

よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。細かい点でもよろしいかと思いますが、はい、宮嶋委員どうぞ。

(宮嶋委員)

伊那市への運行経路で1日25台、25台の、1日50台なんですけれど、午前中・午後、そ

のまま松川インター線を25台午前中に走るのか、それとも的場橋へ半分分けて走るのか、どうなるのでしょうか。

(JR 東海/太田垣課長)

ご質問ありがとうございます。先ほどのご質問は、2往復とも半々で分散しながら通行するのかということですが、午前と午後で2回ずつ、2往復で通行する予定であり、まずは試験的に通行させていただき、その段階においても概ね半分ずつぐらいにルート分散して、午前・午後、通行させていただくことを考えております。

(黒澤委員長)

よろしいですか。半々という形で2往復ということではありますが。ほかにございませんでしょうか。はい、松下委員。

(松下委員)

的場橋の関係でお聞きしたいんですが、的場橋は交互交通というか、一方通行のような形になっちゃうんですよ。西側の方から車が来た場合には、ダンプが通った場合には、事前に止まるとないと避けあいがない。その辺の対応はどのように考えているかお聞きしたいと思います。

(JR 東海/太田垣課長)

的場橋を渡るところが狭いという話だと思いますが、的場橋側への見通しは比較的確保できている、現在でも相互に譲り合いながら運転されているかと思っております。台数が少ないうちは、そのような形でお互いに譲り合いながら、一般の交通の流れに沿って通行させていただくことを考えております。様子を見た中で、この交通の流れが阻害されるようなことがございましたら、誘導等の対応も考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(松下委員)

それから、的場橋は古い築造から、古くなってると思うんですが、その辺は事前に安全対策、橋梁の強度計算とかそういうことをやったというのは、行政からもそういう話もありましたが、その辺はどうなってるのでしょうか。

(黒澤委員長)

それでは町の方から。

(小沢課長)

5年に一度、松川町内の138橋の橋りょう点検をしております。ここの橋りょうに関しましても、点検をさせていただいております。この橋りょうに関しまして補修が必要ということでありましたので、昨年度に補修をして、今現在は終了している状況でございます。

(松下委員)

そうすると安全対策は十分ということよろしいでしょうか。

(小沢課長)

安全対策は、本職の方にチェックをしていただいておりますので十分だというふうに認識しております。

(松下委員)

はい、わかりました。

(黒澤委員長)

ほかにいかがでしょうか。はい、原田委員。

(原田委員)

運搬車両なんですけれども、何トン車で積載量はどのくらいか、参考までに教えていただきたいんですが。

(JR 東海/太田垣課長)

積載量は10トンでございます。

(原田委員)

積載量10トンで、マックスで積載するという形なのでしょうか。

(JR 東海/太田垣課長)

ダンプの定格の積載量以下で運行いたします。

(原田委員)

わかりました。

(黒澤委員長)

はい。ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。

(北林委員)

はい、安協の北林です。アルコールチェックを開始前にチェックされるということですが、この間の事故は運転中に酒を飲んで、帰り道に事故をやっちゃって小学生が轢かれたという話だったと思います。仮にもそういうことはないと思いますが、運行後にはチェックはされないんでしょうか。また、これももちろんJRさんの方に報告が上がって、OKだったよという確認をされるのかということ、確認したいんですが。

(JR 東海/水上室長)

ご質問ありがとうございます。大鹿分室の水上でございます。

アルコールチェックというところでございますが、基本的なチェックは施工会社ですが、具体的に言うと白ナンバーと緑ナンバーの車両でチェックする方法が違っております。白ナンバーの場合は 5 台以上の車両を使用するところは安全運転管理者が行っており、緑ナンバーの場合は、10 台未満で 1 人以上の運行管理者を選任し、その運行管理者がチェックを行っています。それ以外は、施工会社がチェックをするといういろいろなパターンではありますが、まずは運行開始前にチェックするというのが大前提です。運行から帰ってきてからチェックすることはいたしません、この中央新幹線の運搬車両については、中央新幹線という看板を背負って町中を運行しており、それなりの教育や運転手のマナーを含めた意識を徹底して運行しておりますので、途中でアルコールを飲んで運転するということは基本的にあり得ないよう、しっかりと教育をしているというところでご理解いただければと思います。

(北林委員)

それでは、各会社さんからの報告というのはあがってますか。おっしゃることよくわかります。それについての統括ってというのはされるのか。

(JR 東海/水上室長)

それぞれのJV、各社ごとのアルコールチェックした結果は、確認しております。

(黒澤委員長)

よろしいでしょうか。ほかにいかがですか。はい、矢澤委員。

(矢澤委員)

先ほど中川村の走る国道が改良されたというお話があったんですけども、改良された道から中川村を縦断する広い道を通して、渡場へ抜ける道があるんですけど、その区間はまだダンプが通れない状況ですか。それとも通れる状況になっているのか。

(JR 東海/太田垣課長)

ご質問ありがとうございます。冒頭申し上げた中川村の道路が改良されたという区間は、渡場の交差点から北に行くところではなくて、渡場の交差点から大鹿村との間でございます。

(矢澤委員)

はいわかりました。願うところは、早く今の私が話した中川の途中から、中川橋を渡って、中川の広い道を通して、渡場へ抜ける道を広くしてくれると、そこが通れるようになると、分散化されて台数が少なくなると思うので、早く実現していただいて、通るようになっていただけるとありがたいかなということでもあります。以上です。

(JR 東海/太田垣課長)

ご意見ありがとうございます。その場所は、渡場から北上したところにある県道北林飯島線のことでしょうか。この改良計画は、県の方で計画していただいているところでございます。ここが完成したあかつきには、それぞれのご地元と協議しなければいけません。できるだけ分散ができるように協議してまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。

(黒澤委員長)

県の方で進めていただいているということですが、その進捗状況についてはJRさんの方では、わからないということですかね。現状ではそういうことのようなのですが、よろしいでしょうか。ほかにご発言ございますか。はい、寺沢委員どうぞ。

(寺沢委員)

参考としてお伺いしたいんですが、伊那インター工業団地からの帰路が、駒ヶ岳スマートインターからということでお聞きしましたが、そこから国道 153 号線を通ってくるんですが、駒ヶ岳スマートインターから国道 153 号線に出るルートはどのルートなのか、また駒ヶ根市、飯島町、中川村をずっと通過してきますが、それぞれの市町村との協議は既に終わって合意を得ているということでしょうかね。

(JR 東海/太田垣課長)

ご質問ありがとうございます。駒ヶ岳スマートインターから伊南バイパスにおりるルートですけれども、駒ヶ根市と飯島町と協議し、そちらは 2 ルートに分散した形で伊南バイパスにおりていくことで調整を行いました。今日は凶面がありませんが、2 つの道路を分散して伊那バイパスにおりる計画でございます。中川村につきましては、国道 153 号線をそのまま通行するというので、こちらにつきましても地元の区長さんにはご説明しております。

(寺沢委員)

それでは説明ということで、まだ合意というか、協議結果としては受け入れということまではいってないのか。

(JR 東海/太田垣課長)

今回の伊那インター工業団地へ運搬する復路ルートに関する協議は整っております。

(寺沢委員)

はいありがとうございました。

(黒澤委員長)

はい、復路については協議が整ってるということで、よろしいでしょうかね。そのほかご質問、ご発言等ございますか。よろしいでしょうかね。

それでは、(4) 番まで、会議事項終了いたしました。全般を通して改めて、ご質問等ご発

言、それから今日の会議事項でなくてもいいかと思いますが、この中央新幹線の建設工事に関連してお伺いしておきたいこととかありましたらお願いしたいかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。はい、西元委員どうぞ。

(西元委員)

今、松川大鹿線迂回路になって通行してますよね、あれ今完成したということになるとそっちの道路を次にダンプが通るということですが。迂回している道路はそのままダンプのみ使うということですか。

(JR 東海/水上室長)

その辺の道路事情は、本来は長野県の管轄なので県が答えるべきところでございますが、私どもとして確認しているのは、基本的に河川沿いの道路は 11 月上旬ぐらいで通行禁止になり、今の改良した小渋線だけ通行することになります。新しく改良したところを通すようになるという予定です。

(黒澤委員長)

はい、ほかには。どうぞ。

(小沼委員)

前河原道路の関係で聞きたいんですが、的場橋の北にある陸橋が通行止めになると聞いているがどういうことなんですかね。

(黒澤委員長)

町の方で。

(小沢課長)

林そう院の所をきて、大島建設に行く道、国道を渡っている橋自体は通行止めになりませんが、大島建設の本宅東側の道は前河原道路ができた段階では、警察との交差点協議の中で、カーブの中に入りますので通行は禁止という形になりますので、町道に関しましては、通り抜けはできないと。但し、橋は通れます。

(黒澤委員長)

はい、ほかにはいかがでしょうか。

(松下委員)

カーブミラーを設置ということで、安全対策をされておりますが、このカーブミラーの更新は、曇らないカーブミラーを使っておるんでしょうか。それはどうでしょうか。

(黒澤委員長)

はい、それでは町の方からどうぞ。

(小沢課長)

まず下沢建材前のカーブミラーは、前あった場所から移動しております。そのカーブミラーも曇り止めという話を聞いております。それから、的場橋から国道に出るカーブミラー、それから鶴部線に設置をしまして更新したカーブミラー、すべて曇り止めのカーブミラーを設置しております。

(松下委員)

わかりました。

(黒澤委員長)

はい、ほかにいかがでしょうか。全体を通して、よろしいでしょうかね。

それではですね、先ほどJRさんからもお話がありましたけれども、これからの工事が進捗して、搬出も本格的になっていくかと思えますけれども、お問い合わせ先も記載されて、お知らせしていただいておりますし、委員の皆様方には、また現状よく見ていただいておりますね、気がついたことがありましたら、JRさん、それから町のリニア対策課の方へお知らせいただくことがよろしいかなと思えますので、ぜひ関心を持って見守っていただければありがたいかなと思えます。そんなことをお願いいたしまして、私の方は会議事項の進行ということでありますので、町の方にお返ししたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

(小沢課長)

4番のその他ということではありますが、事務局より、先ほどJRさんの方からも、お知らせをいたしました。環境測定の関係はデータがそろった段階でリニア対策委員会報告するということありますので、またその時にはまた皆様方にお知らせしたいと思っております。それから今回同様、ある程度の間隔で会議を開いて、皆様方からご意見いただきたいと思えますので、また出席をお願いしたいと思えます。その他に関しましては以上でございます。

それでは、閉会ということで唐沢副委員長よろしくお願いいたします。

(唐沢副委員長)

大変お疲れ様でした。以上をもちまして松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会

以上